

平成30年度 会津教育事務所 経営・運営ビジョン重点事項の目標と指標

※ 各方案に対する目標の数値は、達成状況を0～3の4段階で評価したときの目標値

重点	域内の重点事項	方策	目標及び指標
1 子どもたちの豊かなこころの育成 (基本目標②)	◎ 道徳教育全体計画別業等を活用した道徳教育の充実	○ 各教科における道徳教育との関連を明確にした別業の作成及び活用についての指導助言 ○ 多様な指導方法の工夫等、授業改善を図る指導助言 ○ 評価の観点や方法についての指導助言	□ 道徳教育全体計画別業等を活用した共通実践 【指標】小中とも2.5以上 □ 多様な指導方法の工夫等質的転換を図る授業実践 【指標】小中平均2.5以上 □ 評価の視点や方法について共通理解を図った実践 【指標】小中とも2.5以上
	◎ いじめ等の問題行動の未然防止と早期解決、問題行動発生時の的確な対応	○ 学校いじめ防止基本方針を基にした、いじめの防止対策及び問題行動への組織的な対応についての指導助言	□ 学校いじめ防止基本方針の点検・見直しをするとともに、保護者や地域住民への周知のために学校ホームページに掲載する等により、共に取り組む学校 【指標】小中とも2.5以上 □ 日常の観察や問題行動等に関わる諸調査による実態把握をする学校 【指標】小中とも2.8以上 □ 児童生徒の立場に立った積極的な「いじめの認知」をする学校 【指標】小中とも2.8以上
	◎ 不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組等の推進	○ 不登校対応資料Vol.5「豊かな学校生活のために」の活用 ○ 相談、支援体制の整備と学校訪問等による支援	□ 不登校児童生徒数(不登校防止や減少・復帰に向けた組織的な取組) 【指標】小中とも2.8以上(不登校出現率 小学校0.3%以下 中学校2.0%以下)
	◎ 読書活動の推進	○ 子どもの読書活動を支援するボランティアの養成	
	◎ 子どもの復興体験活動の支援	○ ふくしま復興体験応援事業の推進	□ 社会体験活動に取り組むことを通して、ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成
2 子どもたちの健やかな体の育成	◎ 「体力向上」や「運動の習慣化」を図る授業や体育的活動の充実	○ 児童生徒に運動の楽しさを味わわせ、体力向上を図る体育や保健体育の授業の推進	□ 運動の楽しさを味わわせる授業を工夫する学校 【指標】小中とも2.8以上
	◎ 「ふくしまっ子食育指針」や「自分手帳」を活用した食育の充実	○ 各校の食育全体計画に基づく食育の共通実践に向けた指導	□ 「ふくしまっ子食育指針」に基づく食育を共通実践する学校 【指標】小中とも2.4以上
	◎ 「学校における肥満対策ガイドライン」や「自分手帳」を活用した健康教育の推進	○ 肥満防止に向け家庭と連携した組織的な取組の推進	□ 肥満防止に向け、家庭と連携しながら具体策を実践する学校 【指標】小中とも2.4以上
基本目標① 3 子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」の育成	◎ 学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立	○ 新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程、教育活動の充実に向けた指導助言 ○ PDCAサイクルを明確にした学力向上グランドデザインの全職員の共通理解に基づいた確実な実践と改善に向けた指導	□ カリキュラム・マネジメントの三つの側面(※)を通して、教育課程に基づき組織的・計画的に教育活動の質の向上に努める学校 【指標】小中とも2.5以上 ※学習指導要領総則第1の4参照 □ 学力調査の結果及び「ふくしま活用子育てシート」等を活用し、学習指導の工夫改善を組織的・継続的に行う学校 【指標】小中とも2.6以上
	◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	○ 「授業スタンダード」を基盤とした授業実践の指導助言 ○ 学びのスタンダードパイロット校、コアティーチャー等による授業研究会や学力調査結果を生かした授業や研修会の工夫	□ 「授業スタンダード」を基盤として授業改善に取り組む学校 【指標】小中とも2.5以上 □ 「授業スタンダード」チェックシートや各種指導資料、各種調査データ、会津教育事務所HP資料等を有効に活用した校内研修を実践する学校 【指標】小中とも2.5以上
	◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり	○ 学習習慣や生活習慣の確立への指導助言 ○ 家庭学習を充実させるための指導助言	□ 学習・生活習慣を向上させるために幼小中連携による系統的な共通実践をする学校 【指標】小中とも2.6以上 □ 「家庭学習スタンダード」を活用し、家庭学習の質的改善を図る学校 【指標】小中とも2.5以上
4 望ましい勤労観・職業観の育成	◎ キャリア教育の組織的な推進と関係機関等との連携	○ キャリア教育の推進体制の確立と共通理解に立った指導の充実 ○ 学校、家庭、地域社会や関係諸機関との連携の強化	□ 校務分掌に担当者の役割を明確にして、組織的に取り組む学校 □ 児童生徒のキャリア発達に対するきめ細やかな支援を行うために関係機関等と連携する学校
5 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進	◎ 全職員の連携・協働による組織的な校内支援体制の充実	○ 一貫性や系統性のある支援体制づくりに向けた指導助言	□ 校内委員会やケース会議等で具体的な支援策を検討し実践する学校 【指標】小中とも2.7以上
	◎ 一人一人のニーズに応じた指導や教育相談の充実	○ 教員の専門性や指導力、相談技能の向上を図る校内研修等への支援	□ 専門性や指導力等の向上につながる効果的な校内研修を実施する学校 【指標】小中とも2.5以上
	◎ 切れ目のない支援の実現に向けた、家庭・地域及び関係機関との連携強化	○ SCやSSW、関係機関、特別支援学校のセンター的機能の積極的な活用の推進に向けた指導助言	□ 「個別的教育支援計画」を活用し、家庭や転学・進学先、関係機関と連携を図る学校 【指標】小中とも2.6以上
6 情報化社会	◎ 情報活用能力の育成と情報モラル教育の充実	○ 情報教育の推進と工夫に向けた指導助言	□ 携帯電話や情報端末等の健全な活用とICT機器の効果的な活用に関する指導を実践する学校 【指標】小2.4以上、中2.6以上
7 国際化	◎ 外国語によるコミュニケーション能力(の素地)の育成	○ 学習到達目標達成やふくしまの「授業スタンダード」を視点とした授業参観及び指導助言 ○ 外国語活動(外国語科)に関する指導力向上研修等の充実	□ ALTの有効な活用など児童生徒が英語を聞いたり話したりする活動を工夫し、コミュニケーション能力の向上を図る学校 【指標】小中とも2.5以上

平成30年度 会津教育事務所 経営・運営ビジョン重点事項の目標と指標

※ 各方策に対する目標の数値は、達成状況を0～3の4段階で評価したときの目標値

重点施策		域内の重点事項	方策	目標及び指標
基本目標②	8 地域における教育への支援	◎ 地域学校協働活動本部事業への支援	○ 地域学校協働活動、学校支援事業、放課後子ども教室に係る各種事業の充実	□ 地域コーディネーターやボランティアの育成と地域全体で学校教育を支援する体制づくり
		◎ 学校、家庭、地域の連携・協働への支援	○ 地域全体で教育活動を支援するためのコーディネーター向けの研修や防災力向上事業の充実	□ 受講者のニーズに合わせたコーディネーターやボランティア育成研修会の実施 【指標】アンケート評価2.3以上
	9 家庭における教育の支援	◎ 地域でつながる家庭教育の応援	○ 家庭教育について保護者が学ぶ機会充実のための支援(親子の学び応援講座、フォローアップ研修会等) ○ 地域家庭教育推進会津ブロック会議を通した「家庭における食育の充実」に向けた取組の推進	□ 受講者のニーズに合わせた家庭教育支援者育成研修会の実施 【指標】アンケート評価2.3以上
		◎ 「ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業」の推進	○ HPや広報誌、各種研修会における周知及び啓発	□ 応募総数 4,500点以上 【昨年実績4,301点】
基本目標③	10 教職員の資質の向上	◎ 人事評価の効果的な実施	○ 適切な人事評価実施に向けた研修会の開催と指導助言	□ 各校における実践事例をもとにした実効性のある分科会の設定と、人材育成のための評価であるという趣旨の理解促進
		◎ 危機管理意識の高揚と不祥事の根絶	○ 各種研修会における実践的な研修や少人数グループでの協議等の工夫 ○ 服務倫理委員会の活性化を促す指導助言と効果的な取組の紹介	□ 「信頼される学校づくりを職場の力で(H30年度版)」及び「不祥事防止チェックシート」の活用を図った研修の充実と自校化を図った実践の啓発
	11 教職員が子どもと向き合える環境の整備	◎ 教職員の勤務の適正化と負担軽減の推進(多忙化解消)	○ 取組事例集Ⅰ～Ⅲを活用した勤務の適正化の推進 ○ 多忙化解消アクションプランの推進	□ 校務内容の見直しや分掌再編・配置の工夫、ノー残業デー・ノー部活デーの推進
		◎ 教職員の心身の健康保持	○ 研修会の開催とメンタルヘルスケアの推進	□ 相談窓口の設置など各校における具体的なメンタルヘルス対策の実践事例の紹介
	12 透明性が高い、開かれた教育の推進	◎ 学校経営能力の向上	○ 校長会議・教頭会議などにおけるより実践的な指導	□ 取組事例の発表など分科会の工夫・改善 □ 法令改正等適時性を大切に研修の導入
		◎ 学校評価の充実	○ 学校評価の適切な実施と効果的な活用の指導	□ 評価結果の分析と改善のための計画立案への助言 □ 学校評議委員会、服務倫理委員会への地域住民の登用 □ コミュニティ・スクール導入への助言
	13 安全で安心できる学習環境の整備	◎ 児童生徒の安全確保と校内安全体制の整備推進	○ 安全管理、安全教育に関する『学校安全計画』や『危機等発生時対処要領』を充実させた学校安全体制の整備促進 ○ 情報モラル教育の充実やSNS被害等から児童生徒を守るための環境整備	□ 防災診断の仕方の工夫及び避難訓練の改善、先進事例の研究と専門家を招聘した講習会の開催 □ PTAや地域安全見守り隊との定期的な協議会の実施など、地域との連携推進 □ ネット被害防止に向けた関係機関との連携推進
各種事業に係る適正執行の確保		◎ 実効的な各種教育活動を支える予算措置 ◎ 適正な事務執行に資する指導・助言	○ 計画的な予算配分や事務の共同連携、事務指導会、年末調整審査会等を通した実践的指導	□ 給与等事務担当者会議の実施 【指標】 事務指導会対象校30校